



じみ

自見はなこ

参議院議員  
医師(小児科専門医・認定内科医)

# ひまわり通信

特大号

感謝とその先を見つめて  
いのちと健康を守る政策を  
進めます!



自由民主党東京都参議院比例区第八十七支部



2024年  
秋風便り

## 内閣府特命担当大臣の任期を終えて・・・

2023年9月13日に発足した第2次岸田第2次改造内閣において、内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策、消費者及び食品安全、地方創生、アイヌ施策)、国際博覧会担当大臣を拝命し、2024年10月1日をもって約1年間の任期を終えることができました。ひとえに皆様方のご声援のおかげと感謝申し上げます。



2024年10月2日大臣退任挨拶式にてお世話になった内閣府の皆様から花束贈呈

現在、人口減少と少子高齢化は日本最大の問題の一つであり、未来の世代に豊かで安定した社会を残すために、出産・子育て支援や地方創生などの政策がより一層求められています。小児科医や超党派育成基本法推進議員連盟の事務局長として培った経験を活かし、妊婦に対する遠方の分娩取扱施設への交通費及び宿泊費支援事業、へき地の郵便局でのオンライン診療の推進、機能性表示食品を巡る健康被害問題への対応、「国立こどもまんなかウェルビーイングセンター in 沖縄(仮称)」の構想など、母子を取り巻く環境や医療・保健提供体制の強化に取り組みました。本年1月の能登半島地震への対応として、災害医療や災害情報管理システム構築の初動、災害に便乗した悪質商法に対する注意喚起、地震関連の消費者ホットライン開設等を行いました。2025年4月に開催を控える大阪・関西万博の国内外の調整、沖縄・北方対策、食品ロス削減など、未経験分野の国政にも携わり、学びの大きい一年となりました。さらに、担当大臣として、4つの法案(改正地域再生法、里帰り出産の情報連携を含む第14次地方分権一括法、官報電子化法、スマホソフトウェア競争促進法)を成立させることができました。今後はこれらの貴重な経験を活かし、より一層国民の皆様のお役に立てるよう邁進してまいります。

参議院議員・医師 自見はなこ

## 1か月児及び5歳児健診の公費負担や新生児マススクリーニング検査の対象疾患拡充のための実証事業の実現



これまで超党派育成基本法推進議員連盟の事務局長として取り組んできた、1か月児及び5歳児健診の国からの費用助成を2023年度補正予算より新規事業として実現することができました。これまで乳幼児健診は4回(生後3~6か月、9~11か月、1歳半、3歳)は国や自治体からの財政措置が行われている一方、1か月児・5歳児健診に対する国の補助はなく、独自に5歳児健診を実施している自治体は15%に留まっております。5歳児健診については、軽度の発達障害等を発見し、就学前までに適切な療育に繋げることで、こどもたちの社会への適応を目指します。

このためには、地域の医療・教育・保健・福祉の関係者が連携し、必要な支援に繋げるフォロ一体制の構築を各自治体で進めることが必要不可欠です。また、公費負担で実施される新生児マススクリーニング検査の対象疾患に、早期に発見すれば治療可能な疾患であるSMA(脊髄性筋萎縮症)とSCID(重症複合免疫不全症)を加えるための実証事業も2023年度補正予算より開始されました。予算措置実現に向けてご支援くださった皆様から感謝申し上げ、より効果的な事業となるよう関係者と連携してまいります。



2024年4月25日 SMA 家族の会と面会



# 沖縄担当大臣としての実績



2024 年度沖縄振興予算として 2,678 億円を確保し、こどもの貧困緊急対策（19 億円）や観光、医療、教育、人材育成など幅広い分野への支援を行いました。2024 年度税制改正に当たっては、自民党沖縄振興調査会や沖縄県連を始めとする地元の皆様と調整し、揮発油税の軽減措置など、要望した全ての税制について3年間延長することができました。

また、貧困の連鎖など、こどもを取り巻く課題の根本的解決を図るため、2025 年度概算要求において沖縄におけるこどものウェルビーイング実現に向けた拠点の検討などを行う調査研究予算を計上しました。これに先立って、琉球大学の学内組織である「国立大学法人琉球大学おきなわこどもまんなかウェルビーイングセンター」も立ち上がりました。

さらに、対馬丸の水中調査等を通じた平和学習の充実や、不利性の高い小規模離島における子育て等の生活環境の向上、跡地の先行取得、離島の交通コストや農林水産物の流通コストの軽減、「ゲートウェイ 2025 構想」を念頭に置いた MRO（航空機整備施設）整備の調査、老朽化した水道施設の緊急整備などを概算要求に盛り込むとともに、沖縄振興特別措置法の見直しの検討も、前倒しで議論をキックオフしました。政府として、沖縄の優位性・潜在力も活かしながら、これらの取組をしっかりと継続・発展させることで、「強い沖縄経済」の実現を目指すとともに、沖縄の未来を支える基盤づくりを進めてまいります。



2023 年 9 月 27 日 沖縄担当大臣となって初めて沖縄県を訪問し、国立沖縄戦没者墓苑にて参拝



2023 年 11 月 7 日 沖縄県経済団体会議から 2023 年度沖縄振興税制改正に関する要請を受ける



2023 年 11 月 13 日 第 39 回沖縄振興審議会



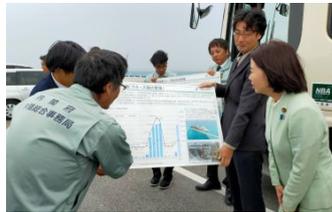
2023 年 11 月 24 日 沖縄県市長会より 2024 年度沖縄振興一括交付金の増額に関する要請を受ける



2023 年 12 月 27 日 沖縄県にて沖縄科学技術大学院大学 (OIST) を視察



2023 年 12 月 28 日 沖縄県北部地域を訪問し、名護市にて北部 12 市町村長と懇談



2024 年 1 月 10 日 22 万トン級の超大型クルーズ船も受入れ可能となった沖縄県宮古島市の平良港（平良港国際クルーズ拠点整備事業）を視察



2024 年 1 月 11 日 沖縄県竹富町立竹富小中学校のこども達と交流



2024 年 6 月 4 日 全閣僚がかりゆしを着用する「かりゆし閣議」が開催 ※写真はその後の記者会見時のもの



2024 年 6 月 6 日 『『国立こどもまんなかウェルビーイングセンター in 沖縄（仮称）』の設立に向けた議員連盟』からの提言手交



2024 年 6 月 23 日 沖縄県にて国立沖縄戦没者墓苑、島守の塔、令和 6 年沖縄全戦没者追悼式などに参列



2024 年 6 月 24 日 沖縄県と那国町を視察



2024 年 6 月 28 日 沖縄県薬剤師会前演朋子会長より琉球大学薬学部の設置に関する要請を受ける



2024 年 8 月 6 日 沖縄県離島振興協議会宮里哲会長より離島における条件不利性の解消に向けた制度拡充等の要請を受ける



2024 年 7 月 18 日 公益財団法人対馬丸記念会 高良政勝理事長による対馬丸記念会への新たな支援に関する要請を受ける



2024 年 8 月 22 日・23 日 沖縄県にて対馬丸慰霊祭や祈念式典に参列し、ひめゆりの塔・斎場御嶽・久高島などを訪問



# 北方担当大臣としての実績



北海道の北東洋上に連なる歯舞（はほまい）群島、色丹（しこたん）島、国後（くなしり）島及び択捉（えとろふ）島の北方領土は、日本人が開拓し住み続けた島々です。これらの島は第二次世界大戦終了後にソ連軍に占拠されましたが、北方領土は我が国が主権を有する島々であり、我が国固有の領土です。

北方領土問題の解決に向け、2024年度予算では、若者世代への啓発手法の開発やストーリーテリング・デジタルアーカイブ構築などの新規事業を含む予算を確保。さらに、2025年度概算要求では、北方領土隣接地域における地域一体となった啓発促進策の調査研究や、戦後80年の節目の啓発事業などの新規事業を計上しております。また、2024年9月には、北方対策担当大臣として初めて洋上慰霊に参列し、元島民や後継者の方々と意見交換させていただきました。北方墓参を始めとする北方四島交流等事業の再開は、日露関係における最優先事項の一つです。政府は引き続きロシア側に対し、今は特に北方墓参に重点を置いて、事業の再開を強く求めてまいります。



北方領土イメージキャラクター「エリちゃん」北方領土の周辺海域で生息する海鳥「エトピリカ」がモチーフ



2023年10月12日北海道根室市にある納沙布岬から我が国固有の領土である北方領土を視察



2023年12月1日内閣府と北方領土隣接地域の1市4町が主催する「2023北方領土展 in Tokyo」を視察



2023年12月1日令和5年度北方領土返還要求中央アピール行動において、石垣雅敏根室市長を始めとする皆様による表敬訪問



2023年12月19日「第27回北方領土返還要求運動推進功労者等表彰式」にて表彰状を授与



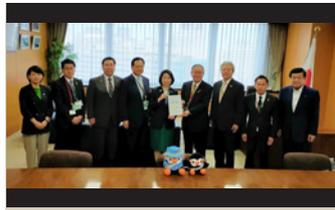
2024年2月7日北方領土問題の解決を求める国民の決意を内外に表明するため、「北方領土返還要求全国大会」に出席



2024年5月14日北方領土問題の解決等に関する岸田文雄内閣総理大臣への要請に同席①



2024年5月14日北方領土問題の解決等に関する岸田文雄内閣総理大臣への要請に同席②



2024年6月11日北方領土隣接地域の根室、別海、中標津、標津、羅臼の各市町長から「隣接地域グランドデザイン」の策定に関する要請を受ける



2024年7月30日岸田文雄内閣総理大臣とともに北方少年少女（北方領土元居住者の四世等の中学生）の表敬を受ける



2024年9月2日洋上慰霊のため「えとぴりか」に乗船し、納沙布岬沖で行われた慰霊式に参列



## アイヌ施策担当大臣としての実績



アイヌ施策担当大臣として、我が国に先住し、独自の言語や文化を有する先住民族であるアイヌの方々が民族としての誇りを持って生活でき、その誇りが尊重される社会の実現に向けた政策も担当いたしました。民族共生象徴空間（ウポポイ）の充実強化や、交付金を活用して多岐にわたるアイヌ施策を推進するなど、未来志向の政策を着実に進めてまいりました。また、2025年度概算要求では、アイヌ政策推進交付金のほか、アイヌ文化の振興や教育・雇用などの生活向上、偏見や差別の解消に向けた取組など、各分野の様々な施策に予算計上しております。さらに、アイヌ政策推進法の施行5年後の見直しの検討や、外国に所在するアイヌの御遺骨の返還における調整などもしっかりと進めてまいります。



2023年10月5日北海道白老町にある民族共生象徴空間「ウポポイ」を視察し北海道アイヌ協会やアイヌ民族文化財団を始めとする皆様と意見交換



2024年4月23日東京都のアイヌ文化交流センターを視察し、関東ウタリ会の丸子美記子会長と意見交換



2024年7月9日・10日北海道札幌市で開催されたアイヌ政策推進会議に出席し、平取町の工房や博物館等を視察



2024年7月10日北海道平取町のカンカンコタンを視察

# 地方創生担当大臣としての実績

2024年は国が地方創生の旗を振り始めて10年という節目の年であり、これまでの施策を振り返り、次の展開を見据えた施策を策定し、人口減少対策と東京一極集中の是正を強化するための取り組みを推進してまいりました。低所得者や医療機関の食材料費高騰を含む物価高対策として、重点支援地方交付金を確保し、自治体の事務的負担を軽減するデジタルツールを導入して迅速な給付を支援しました。また、デジタル田園都市国家構想交付金の確保や連携絆特区の創設を通じて、地方のデジタル化と自治体間連携による課題解決力を強化しました。さらに、地域産業構造転換インフラ整備推進交付金も創設し、半導体などの戦略産業に対するインフラ整備を促進し、地方経済の競争力強化や雇用の確保を図りました。また、買い物難民対策として、郵便局やコンビニ、薬局と連携し、地域での食料品アクセスの改善を進めたり、地方の医療サービス確保においては、へき地での郵便局を活用したオンライン診療の導入やオンライン診療カーの活用など、新たな医療モデルの展開を推進しています。また、妊婦に対する遠方分娩施設への交通費や宿泊費支援事業の創設に携わったり、里帰り出産時の自治体間での情報連携の仕組み構築を通じて、地方の出産・子育て環境を整備しました。さらに、都市部の学生が地方で就職しやすくなるよう、交通費や移転費支援を設け、地方の人材不足解消と地域経済の活性化に取り組みました。

今後も地域の自立と成長を後押しする施策を通して、地域住民や自治体と共に持続可能な地方創生を目指し、地方が魅力的な選択肢となるよう、現場の声を大切にしながら政策を推進してまいります。



2023年11月18日  
熊本県にて熊本県医療的ケア児支援センター等を視察



2023年12月9日  
「地方創生☆政策アイデアコンテスト2023」にて表彰



2023年12月18日  
国と地方の協議の場  
(2023年度第3回)①



2023年12月18日  
国と地方の協議の場  
(2023年度第3回)②



2023年12月20日  
「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」  
(第10回選定)交流会



2024年1月4日  
石川県の岡田直樹参議院議員と能登半島地震の災害対策について議論



2024年1月9日  
非常災害対策本部(第8回)にて能登半島地震の災害対策について議論



2024年1月15日  
宮城県を視察し、村井嘉浩知宮城県知事(全国知事会長)と面会



2024年1月16日 神奈川県住宅団地「上郷ネオポリス」にてコンビニを併設した地域コミュニティ施設「野七里テラス」を視察



2024年1月17日  
長野県豊丘村「南信州とよおかマルシェ」視察



2024年2月24日 2023年度補正予算で創設した「地域産業構造転換インフラ整備推進交付金」で工場インフラ整備を支援しているJASM(株)熊本工場開所式



2024年5月31日  
金融・資産運用特区の実現に向けた4都市首長との意見交換



2024年6月13日  
地方創生に関する地方六団体との意見交換会



2024年6月27日「自治体・公共Week2024」にてオンライン診療ができる仙台市の診療カーについて郡和子仙台市長・安藤健二郎仙台市医師会長と講演



2024年8月7日  
奈良県月ヶ瀬郵便局を視察



2024年8月7日  
奈良県月ヶ瀬温泉ふれあい市場を視察

【担当大臣として関わった法律】・地域再生法の一部を改正する法律・地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律  
【担当大臣として関わった閣議決定】・令和5年の地方からの提案等に関する対応方針・総合特別区域基本方針の一部変更について・国家戦略特別区域基本方針の一部変更について  
・地域再生基本方針の一部変更について・国家戦略特別区域を定める政令の一部を改正する政令・構造改革特別区域基本方針の一部変更について  
【大臣表彰】・第3回地方創生SDGs金融表彰・地方創生☆政策アイデアコンテスト2023・令和5年度企業版ふるさと納税に係る表彰・令和5年度地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』表彰  
・先進的給付事務(スーパーファストパス)導入先進自治体の認定

# 消費者及び食品安全・公正取引委員会・PPP/PFI 担当大臣としての実績

消費者庁設立 15 年目にあたり、消費者及び食品安全担当大臣として、消費者は国民経済活動の真ん中に位置する主体であるという考えのもと、消費者の安全・安心の確保や様々な消費者問題に取り組んできました。また、消費者行政予算を、2023 年度補正予算と 2024 年度当初予算を合わせて 200 億円を超える程の大幅増額いたしました。さらに、「食品ロス削減目標達成に向けた施策パッケージ」を 2023 年 12 月に策定し、未利用食品等の提供（食品寄附）の促進に向けたガイドライン策定、こども食堂・生活困窮者支援等との連携、食品の期限表示の見直し等を進めました。「食品ロス削減・食品寄附促進施策・食品アクセスの確保」を包括する概念を「食の環（わ）」プロジェクトと称し、今後関係府省庁と連携して推進・発信してまいります。また、機能性表示食品を巡る健康被害問題については、各種会議や消費者に向けた情報発信を行い、健康被害情報の提供を事業者へ義務付け、サプリメントの機能性表示食品における製造・品質管理基準及び自己評価の定期的公表等を要件化するなど、機能性表示食品制度を見直しました。その他にも、大麻グミ問題、悪質ホスト対策等にも精力的に取り組み、消費者の安全と利益を守るために尽力いたしました。また、公正取引委員会として 60 年ぶりの単独新法であり、スマートフォンのソフトウェア（モバイル OS、アプリストア、検索エンジン等）の提供事業者に対して規制を行う法律である「スマホソフトウェア競争促進法」を成立させ、さらに、明治時代から続いている官報の電子化に向けた法律も成立させることができました。その他、電力会社に対するコスト削減の目標設定や郵便料金改定に関する透明性の確保、斎場や上下水の PPP/PFI の推進を盛り込むアクションプランの改定を行いました。

**消費者及び食品安全**



2023 年 12 月 25 日 消費者庁新未来創造戦略本部がある徳島県にて後藤田正純徳島県知事と面会

**食品ロス**



2023 年 12 月 25 日 徳島県「フードバンクとくしま」を視察

**食品ロス**



2024 年 1 月 12 日 企業等から食品の寄附を受け、必要としている団体や生活困窮者へ無償で提供するフードバンク拠点・フードパントリー施設などを視察

**消費者及び食品安全**



2024 年 1 月 23 日 独立行政法人国民生活センター東京事務所を訪問

**消費者及び食品安全**



2024 年 3 月 27 日 紅麹使用食品に係る消費者及び食品安全関係連絡会議（第一回）

**消費者及び食品安全**



2024 年 4 月 10 日 2024 年度第 1 回食品衛生基準審議会（第一回）

**食品ロス**



2024 年 5 月 1 日 イギリス・フランスにてスーパーやフードバンクを視察。その一つである The Felix Project

**消費者及び食品安全**



2024 年 5 月 7 日 第 1 回公益通報者保護制度検討会

**食品ロス**



2024 年 5 月 9 日 第 1 回食品寄附等に関する官民協議会

**消費者及び食品安全**



2024 年 5 月 21 日 物価問題に関する関係閣僚会議にて郵便料金見直しについて議論

**消費者及び食品安全**



2024 年 5 月 23 日 機能性表示食品を巡る検討会（第 6 回）

**食品ロス**



2024 年 7 月 2 日 第 9 回食品ロス削減推進会議にて、食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針の改定の考え方と「食の環（わ）」プロジェクトの取りまとめとその発信について議論

**食品ロス**



2024 年 7 月 19 日 生活困窮者への食品寄附活動を実施している韓国のフードバンクマーケットセンターを視察

**食品ロス**



2024 年 7 月 22 日 新潟県燕市及び三条市にてフードバンク施設を視察

**消費者及び食品安全**



2024 年 9 月 11 日 消費者及び食品安全担当大臣として岡山県の（株）明治倉敷工場、北長瀬コミュニティフリッジ、ハローズ津高店、（有）立龍美掃を視察

**食品ロス**



「食の環（わ）」プロジェクトのロゴ

【担当大臣として携わった法律】・官報の発行に関する法律・官報の発行に関する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律・スマートフォンにおいて利用される特定ソフトウェアに係る競争の促進に関する法律  
 【担当大臣として携わった閣議決定】・PPP/PFI 推進アクションプラン・令和 6 年版消費者白書・フリーランス・事業者間取引適正化等法施行令・令和 5 年度公正取引委員会年次報告  
 【大臣表彰】・令和 5 年度食品ロス削減推進表彰・令和 6 年度食品ロス削減推進表彰・令和 5 年度「めざせ！食品ロス・ゼロ」川柳コンテスト・エンカル甲子園 2023・第 39 回 2023 年 ACAP 消費者問題に関する「わたしの提言」・令和 5 年度消費者志向経営優良事例表彰・令和 5 年度消費者支援功労者表彰・消費者教育教材資料表彰 2024・第 18 回「キッズデザイン賞」・第 1 回 PPP/PFI 事業優良事例表彰



# 国際博覧会担当大臣としての実績

2025年4月13日～10月13日に開催される大阪・関西万博の開催約1年半前という重要な時期に国際博覧会担当大臣として携わせていただき、国内外の多くの関係者との調整やパビリオンの計画・建設、機運醸成イベントの展開など、開催に向けて大きく躍進することができました。

まず、大臣就任の4日後に万博の開催地である大阪府夢洲（ゆめしま）へ早速視察をし、内閣官房万博事務局、経産省、博覧会協会との定期会議を立ち上げ、関係者間の情報連携を強化しました。次に、万博の予算執行の透明性を高めるため、「2025年大阪・関西万博予算執行監視委員会」を設立し、厳格な管理体制を構築しました。また、万博の費用対効果を明確にするために再試算を行い、約2.9兆円の経済波及効果が見込まれることを発表しました。さらに、各国の大使や万博プロデューサーとの意見交換を通じて、各パビリオン（展示館）の進捗確認やこども・若者を中心とした万博のテーマを推進しました。また、万博出展者の申請手続き等をサポートするOSS（ワンストップショップ）の設置や、日本建設業連合会・全国建設業協会との密な連携にて海外パビリオンの建設を支援体制を整えました。さらに、海外からの来場者350万人（想定）に備え、訪日観光客の民間医療保険加入促進や外国人患者受け入れ医療機関認証制度（JMIP）の取得促進に取り組み、訪日外国人の医療対応の強化を図りました。他にも、「万博絆通信」の発行を通じて国内外への情報を発信や、定期的に大阪に伺い各地での機運醸成イベントを実施いたしました。今後、間近に迫った万博の成功や、今回のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に向けてより一層取り組みを推進してまいります。



大阪・関西万博会場  
レイアウト



シンボルの一つである  
リング外観



アメリカ館  
「共に創出できることを  
想像しよう」



イタリア館  
「芸術は生命を再生する」



オーストラリア館  
「太陽を追いかけて」



ベルギー館  
「いのちを救う」



石黒浩プロデューサー  
「いのちの未来」



落合洋一プロデューサー  
「null2」



飯田グループホールディングス  
株式会社 × 大阪公立大学共同出  
展館「サステナブル・メビウス」



2023年11月30日  
「大阪来てな！万博開幕500日  
前イベント」



2024年1月31日 ラーム・エマ  
ニュエル駐日米国大使と米国大使  
公邸での米国パビリオン発表会



2024年3月25日 豪州大使館に  
て「Australia Day in spring ~  
EXPO2025, Chasing the Sun ~」



2024年4月17日 大阪・関西  
万博の米国パビリオン起工式  
記念レセプション



2024年4月17日  
大阪にて「開幕1年前『いく  
ぞ！万博』フェスティバル」



2024年4月24日 フランク・  
リエステール仏貿易担当大臣  
と仏パビリオン・イベント



2024年4月29日 パリのBIE  
本部でデミトリ・ケルケン  
ツェス事務局長と面会



2024年6月2日 大阪・関西万  
博とコラボした「JAL ミヤク  
ミヤク JET 2号機」お披露目会



2024年6月25日  
「IPM2024 夏」開会式



2024年6月30日 大阪・関西万博  
のシンボルの一つである木造大屋根  
リングの見学ツアー（夢洲ツアー）



2024年7月21日 ソフィア・チョン香港貿  
易發展局上席副総裁、岡田健一在香港日本  
国総領事と香港ブックフェアにて万博をPR



2024年8月26日 全国63の自治  
体と万博参加の43か国が参加し  
たホストタウンフェスティバル

他にも沢山のパビリオン（展示館）が集結！

## 大阪・関西万博の 最新情報はこちらから



週刊「万博絆通信」



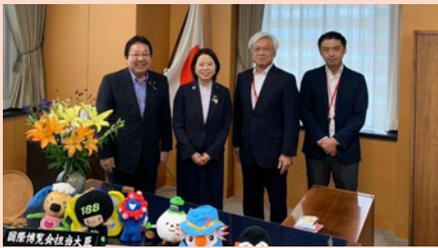


# 自見はなこのミニエピソード

## さまざまな「出会い」と「ご縁」に感謝

### \*へき地の郵便局でのオンライン診療\*

かねてより携わっていた、2023年度「郵便局等の公的地域基盤連携推進事業」における「へき地の郵便局でのオンライン診療」に関する石川県七尾市での実証事業が終わり、へき地医療を補完する方策の一つとして、郵便局におけるオンライン診療の有用性が示唆された旨の報告書が取りまとめられました。本事業は、2022年より日本医師会・日本郵政・総務省・厚生労働省と連携し、幾度も議論を重ねてきたものです。郵便局の空きスペースを活用することで医療機関が少ないへき地での高齢者等の受診の機会を確保します。郵便局内に個室ブースの設置やプライバシーの守れる応接室を活用し、オンライン診療が可能である疾患／病態の患者を対象に、医師と患者間において情報通信機器を通して診療行為をリアルタイムで行います。またオンライン診療で処方を受けた患者のうち、希望者は協力薬局ともインターネット回線で接続し、オンライン服薬指導を受けることができます。同報告書によれば、患者の移動負担の軽減等に加え、郵便局職員がオンライン診療のサポートを行うことで住民の医療に対するアクセス改善に寄与する等、へき地を含む地域医療を補完する一方策として有用性が示されました。また本件に関連して、7月4日付けで、厚生労働省と総務省の連名で各都道府県宛の事務連絡『「へき地の郵便局でのオンライン診療」に関する実証事業の実施結果について』が発出されております。本事業の初期投資費用や備品費や借料等については、医療施設運営費等補助金の「へき地医療拠点病院運営事業」の基準額の範囲内で対象経費として計上が可能です。詳細は事務連絡及び資料をご確認願います。無医地区などの地域医療もしっかり支えてまいります。

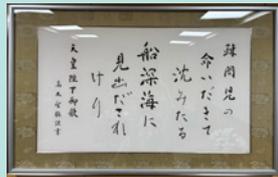


2024年8月30日日本郵便 千田哲也代表取締役社長らと面会

### \*沖縄・対馬丸との縁\*

1997年に対馬丸が発見された際に、天皇陛下（現上皇陛下）が詠まれた御製を大臣室に掲げています。高木聖鶴先生による揮毫で、対馬丸記念館にも所蔵されている大変貴重なものです。初代沖縄担当大臣であった義父の橋本龍太郎が想いを込めてつくったもので、私の大臣就任時に夫の橋本岳が飾ってほしいと持ってきました。

日々の執務の中で沖縄について考えるときは、常にこの御製に向き合い、長い歴史の中で先人の皆様方がどのような思いで沖縄政策に取り組んでこられたかに思いを馳せつつ、業務を邁進してまいりました。



### \*独占禁止法との縁\*

義祖父である橋本龍伍が経済安定本部財政金融局企業課長の時にGHQ下で独占禁止法の制定に関わっており、今回は公正取引委員会担当大臣として、公正取引委員会として60年ぶりの単独新法であり、スマートフォンのソフトウェア（モバイルOS、アプリストア、検索エンジン等）の提供事業者に対して独占規制を行う法律である「スマホソフトウェア競争促進法」の成立に携わりました。



2024年8月1日  
公正取引委員会泉水文雄委員らと  
原始独占禁止法制定時の公文書を閲覧

### \*こどもの補装具費支給制度の所得制限を撤廃\*

障害のあるこどものバギー等の補装具購入費への支給制度において、自己負担0円や1割負担の世帯が多いなか、年収1,200万円以上の世帯には所得制限があり、全額自己負担となっておりました。こどもの補装具費支給制度の所得制限撤廃について、超党派育成基本法推進議員連盟役員と団体で政府へ2度も要望活動をした結果、2024年度に実現することができました。これにより補装具購入にかかる負担が少なくなり、身体に合った補装具の購入が可能となりました。購入費用の為に働くことで失われていた家族で過ごす時間が少しでも増え、子ども達にとってより良い環境になれば嬉しい限りです。今後も当議連を通じて障害の有無に関わらず、子ども達がすくすくと成長していけるような政策を推進します。

### \*新生児聴覚検査費の公費負担額UP!\*

本年度の国からの新生児聴覚検査費用補助は、市町村の標準団体（18歳以下人口1万6,000人）当たり約161万円計上され、2022年度の約94万円より約67万円拡充されました。また、新生児聴覚検査の実施状況等の把握や情報共有など、検査体制の推進を都道府県に求める事務連絡が出されました。難聴対策推進議員連盟の事務局長としても引き続き難聴児の早期発見と治療・療育に取り組んでまいります。



# みなさまの声にお応えできるよう取り組んでまいります。



## 松本吉郎 日本医師連盟委員長

日頃より自見はなこさんの活動をお支えくださっている皆様に、後援会長の立場から改めまして深く感謝と御礼を申し上げます。

自見はなこさんは2016年の初当選以来、様々な議員立法、議員連盟活動、国会での質問など精力的に活動し、わが国の社会保障を守り発展させていくため力を尽くしてくれています。医療政策においても、医師偏在や診療報酬改定、創薬など医療界全般に関するテーマはもとより、成育基本法や死因究明推進基本法の議員立法や産後ケアの法制化、HPVワクチンの積極的勧奨再開、こどもの視覚の屈折健診、難聴対策、脳卒中・循環器病対策など様々な診療分野で大きな成果を上げ、まさに医療界の代表として大活躍を見せてくれています。参議院2期目を迎えて間もない、昨年9月に若手としては異例の大抜擢で初入閣を果たしたことも、そうした実績を評価されてのことと思います。

大臣として、妊婦に対する遠方の分娩取扱施設への交通費及び宿泊費支援事業や里帰り出産の情報連携を含む地方分権一括法の成立、へき地の郵便局でのオンライン診療の推進、中山間地域での買い物支援など、地方創生と医療やICT等を絡めた政策を数多く打ちだし、大いに期待に応えてくれました。1年余りがたち、大臣という重責を見事に務め上げたこと、心から労いの言葉を贈りたいと思います。今後も国家国民のために力を尽くしてくれることと確信しております。皆様におかれましても、どうかこれまで以上に力強いご支援を自見はなこさんに賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



## 横倉義武 日本医師会名誉会長

内閣府特命担当大臣・国際博覧会担当大臣という大役を担い、その任期を務めあげた自見はなこさん、まずはお疲れ様です。

開催が来年に迫った大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマであり、私自身も誘致特使として尽力してきたものです。自見はなこさんは担当大臣として、国内外との調整や人件費・資材価格高騰などの対策、機運醸成等に取り組み、成功に向けて大きく前進してくれました。また、地方創生も全国の医療・介護・福祉の提供体制にかかわる重要政策です。政府が地方創生の旗を振り始めて10年となる節目に担当大臣となられ、その総括と今後の方向性を示す大役を見事に果たしてくれたことに心より敬意を表します。

得がたい経験を積み、政治家として大きく成長した自見はなこさんを今後も応援し続けてまいります。



## 藏内勇夫 世界獣医師会次期会長・日本獣医師会

自見はなこ前内閣府特命担当大臣にはいつも私たち獣医師の活動を応援してもらっています。2022年5月の参議院予算委員会にて「ワンヘルス(人獣共通感染症対策)」の必要性を力強く政府に訴えていただいた結果、2023年4月「国際的に脅威となる感染症対策の強化のための国際連携等関係閣僚会議」において重要な施策群としてワンヘルスアプローチが明記され、ワンヘルスを含むコロナ禍後の感染症対策の司令塔である、国立健康危機管理研究機構の設立の流れに繋がりました。また、ワンヘルスの周知も兼ねて、本年3月に内閣官房国際博覧会推進本部事務局の主催で「福岡県×大阪・関西万博 機運醸成シンポジウム『ワンヘルス、いのち輝く未来へ』」が開催されるなど、並々ならぬお力添えを頂きました。

ワンヘルスの強力な応援者である自見はなこさんの更なる活躍に、私たち獣医師も大きく期待しています。大臣の任期満了お疲れさまでした。これからも頑張ってください。



## 参議院議員・医師

### 自見はなこプロフィール

昭和51年2月15日 長崎県佐世保市生まれ  
福岡県北九州市育ち

明治学園中学校卒業  
Brookline High School, MA, USA 卒業  
筑波大学第三学群国際関係学類卒業  
東海大学医学部医学科卒業  
東京大学医学部小児科学教室入局  
同附属病院小児科勤務  
東京都青梅市立総合病院小児科勤務  
虎の門病院小児科勤務  
東海大学医学部医学科客員教授

小児科専門医・認定内科医  
防災士



2024年8月8日  
子ども震ヶ関見学デーのイベントにて  
子どもたちと懇談

### 主な経歴

2016年 参議院議員選挙比例区(全国区)初当選  
2019年 厚生労働大臣政務官  
2020年 党青年局長代理  
2021年 党女性局長  
参議院議員選挙比例区(全国区)2期目当選  
2022年 内閣府大臣政務官  
2023年 内閣府特命担当大臣

じみ

## 自見はなこ事務所

自見はなこ

検索

<http://www.jimihanako.jp/>

## 「ひまわり会」入会 のご案内

「ひまわり会」は政治資金規正法上の政治団体です。

自見はなこの政治活動を支援するため、  
ひまわり会への入会を募集しております。

詳しくは、自見はなこ事務所までお問い合わせください。

SNSで応援!

(LINE・X(旧Twitter)・  
Facebook・instagram)

メルマガ  
登録も  
こちらから



国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館504号室  
TEL 03-6550-0504 FAX 03-6551-0504

西日本事務所

〒578-0935 大阪府東大阪市若江東町  
4-2-5  
TEL 06-6727-7007 FAX 06-6727-7008

北九州事務所

〒802-0077 福岡県北九州市小倉北区  
馬借2丁目7番28号2階  
TEL 093-513-0875 FAX 093-513-0876